

第 121 回 電子情報通信学会 電磁界理論研究専門委員会  
2025 年第 1 回 電気学会 電磁界理論技術委員会  
合同委員会 議事録

日時：2025 年 3 月 22 日（土），16:00 ～ 17:30

場所：オンライン

出席者：

（電子情報通信学会 電磁界理論研究専門委員会）

川口 委員長（室蘭工大），鈴木 副委員長（都立大），尾崎 幹事（日大），杉坂 幹事（北見工大），長坂 幹事補佐（足利大），伊藤 委員（秋田高等），尾崎 委員（金沢大），河野 委員（防衛大），黒木先生（都立産技高専），田中 委員（岐阜大），圓谷 委員（福岡大），藤田 委員（埼玉工大），森山 委員（長崎大），渡辺 委員（福岡工大），平山 顧問（北見工大）

（電気学会 電磁界理論技術委員会）

古川 委員長（日大），中 幹事（宮崎大），石田 幹事（九産大），夏秋 幹事補佐（東京大），上田 委員（京工繊），大平 委員（同志社大），阪本 委員（京都大），芹澤 委員（沼津高専），西本 委員（熊本大），孟 委員（福岡大），

## 議題

《通信学会側》

- 1) 2024 年度 第 2 回合同委員会議事録の確認 【川口委員長】  
川口委員長から報告があり、異論なく認められた。
- 2) 会計報告 (決算見込) 【長坂幹事補佐】  
長坂幹事補佐より報告があり、支出について異論無く認められた。
- 3) 2024-2025 年度の電磁界理論研究専門委員会活動(報告および計画)について 【尾崎前任幹事】  
尾崎幹事より報告があり、異論なく認められた。
- 4) 令和 6 年度電子情報通信学会電磁界理論研究会学生優秀発表賞受賞者報告 【長坂幹事補佐】  
長坂幹事補佐により報告された。異論なく認められた。  
コロナ禍前と同様に総合大会（東京都市大学）で、3 月 27 日（木）の 14:15～のセッション前に表彰式を取り行う予定。参加者には賞状一式を授与し、参加できない受賞者には郵送で賞状一式を送付済み。
- 5) 電子情報通信学会英文論文誌 C 小特集号論文について(2026 年 4 月号) 【尾崎前任幹事】  
尾崎幹事より報告があった。  
編集委員会を開催した。論文投稿締切は、3 月 31 日であり、現在は投稿件数が 1 件だが、様式不備で再投稿を要求中。締切延長は、4 月 12 日を検討している。
- 6) 2025 年電子情報通信学会ソサイエティ大会シンポジウムセッション提案について 【杉坂後任幹事】

杉坂幹事より報告があった。

2025年度は国内での国際会議等が多いため、ソサエティ大会では、シンポジウムセッションの提案はしない予定。2026年総合大会でシンポジウムセッションの提案をする予定。

7) 2025年度第54回電磁界理論シンポジウム開催計画について 【杉坂後任幹事】

杉坂幹事より報告があった。

電磁界理論シンポジウムの開催計画を再検討した。その結果、2つの候補の提案があった。

第1候補：日本大学駿河台キャンパス、12/16-17（2日間）

第2候補：日本大学船橋キャンパス、12/18-20（3日間）

どちらの案でも「電磁気学に関する教育活動」のセッションを追加する予定。国内での国際会議 ISAP 2025 や PIERS 2025 が直近で開催されることから、参加しやすい日程、候補地が挙げられた。第1候補で進めていくことに、賛同する意見もあり、特に異論はなかった。

8) 2025年度第1回 EMT 講習会（仮称）開催計画について 【杉坂後任幹事】

杉坂幹事より EMT 研専で EMT 講習会（仮称）をする提案があった。

講習会はチュートリアル的な位置づけで、学生、専門外の研究者でも理解できる内容を想定。第1回のテーマは、「境界要素法による誘電体電磁波散乱シミュレーション」であり、講義と実習を行う計画。本件は、2種研究会として実施し、収益を EMT 研専資産に還元する方針。北見工大で第0回講習会を8月～9月頃で、10～20名程度の参加者を対象に試験的に実施し、その後、第1回の講習会を同じ内容で東京など実施する計画。参加費は2000円を想定。

本件に関し、テキスト販売して、その価格は多少高くなっても良いのでは、という意見があった。将来的には講師の謝金などもそこから支出したい。また、本計画を第2種研の建て付けになるように、きちんとしておいた方が良いという意見もあり、他の研専等の状況を精査した上で、さらに検討することになった。なお、本講習会を実施すること自体について、異論はなかった。

9) ISAP2025 or PIERS2025 関連について 【川口委員長および EMT 幹事団】

川口委員長より報告があった。

ISAP 2025 については、EMT 研として、2つオーガナイズセッションを作ることになった。川口委員長と鈴木副委員長がオーガナイズすることになった。ISAP 2025 では、700件の発表を目指す方針。EMT 研からは、1セッション5件で10件の発表が行われる予定。

PIERS 2025 の方から EMT 研に正式な依頼はまだない。

10) 2025年度電磁界理論研究専門委員会委員委員長の推薦について 【川口委員長】

川口委員長から報告があった。委員長の推薦について承認された。

次年度から鈴木副委員長が委員長に就任する。

11) 2025年度電磁界理論研究専門委員会委員構成(案)と交代について 【川口委員長】

川口委員長から委員の構成と交代について報告があり、承認された。

構成案は、既に提出済み。次年度から委員として活動したいと構成案提出後に返答頂いた方がおり、今回は、申請が間に合わなかった。次年度、再度打診してその方を申請する方針となった。

## 幹事団

委員長：川口先生（室蘭工大）⇒鈴木先生（都立大）

副委員長：鈴木先生（都立大）⇒佐藤先生（新潟大）

前任幹事：尾崎先生（日大）⇒杉坂先生（北見工大）

後任幹事：杉坂先生（北見工大）⇒田中さん（三菱電機）

## 専門委員

退任：飯盛先生（慶応大）、佐藤先生（新潟大）

新任：尾崎先生（日大）、新納先生（三菱電機）、柴山先生（法政大）、Jerdvisanop さん（NICT）

## 12) その他

川口委員長より報告があった。

信学会エレスの研究連絡会が開催されている。あと数年でこのままいくと会員数が4割減となり、活動維持できなくなる。研究会の統廃合も議論されている。連絡会の中で、研専への依頼が2件あった。

依頼1：財務戦略提言の実現に向けた具体的な施策について（意見聴取）

依頼2：研究会・技術研究報告の在り方の見直しについての意見聴取・検討依頼（意見聴取）

依頼1, 2について、EMT 研専内で意見をまとめ、4月4日中にメールで報告する予定。依頼1は、研究会幹事の担務を一部事務局に委託し、業務負担の軽減を図る具体例の徴収依頼である。依頼2については、現行の技報を維持しつつ、新たに査読付き技報の発行とアブストラクト集の作成の2つの形式を導入することについての意見徴収依頼である。

依頼2について、アブストラクト集に関する異論は特に出なかった。技報（査読付き）について、この提案内容が認められた場合、専門委員にも研究会ごとに査読のお願いする必要がある。また、和文論文誌と技報（査読付き）の関わりについてもう少し検討する必要があるという意見がでた。引き続き意見を研専内で徴収し、4月4日までに報告する予定。

## 《電気学会側》

### 1) 電気学会 A 部門活動資金報告・申請書について

【古川委員長】

古川委員長より、11月電磁界理論研究会の講演料支払い、次回申請書について報告があった。異論はなかった。

### 2) 研究会企画シート（2025年5月、7月）

石田幹事より報告があった。異論はなかった。

本件は提出済みであり、電気学会のHPにも掲載されている。

### 3) 電気学会電磁界理論技術委員会委員の退任および新任について

【古川委員長】

古川委員長より、委員の退任と新任について報告があった。

## 幹事団

委員長：古川先生（日大）⇒柴崎先生（都立産技高専）

前任幹事：中先生（宮崎大）⇒石田先生（九産大）

後任幹事：石田先生（九産大）⇒尾崎先生（日大）

## 1号委員

新任：中先生（宮崎大）

#### 4) その他

古川委員長より、報告があった。本部表彰 A 賞は電気学会会員に限定しない方針になった。また、部門表彰は基本的に電気学会会員に限る方針になった。具体的には、部門表彰選考の際に、電気学会会員かどうかは確認せず、選出された際に非会員の場合には会員になることを薦める。会員にならなかった場合は、次点の候補者になる方針。なお、これら表彰 A 賞、部門表彰の方針は、まだ最終決定ではない。

以上